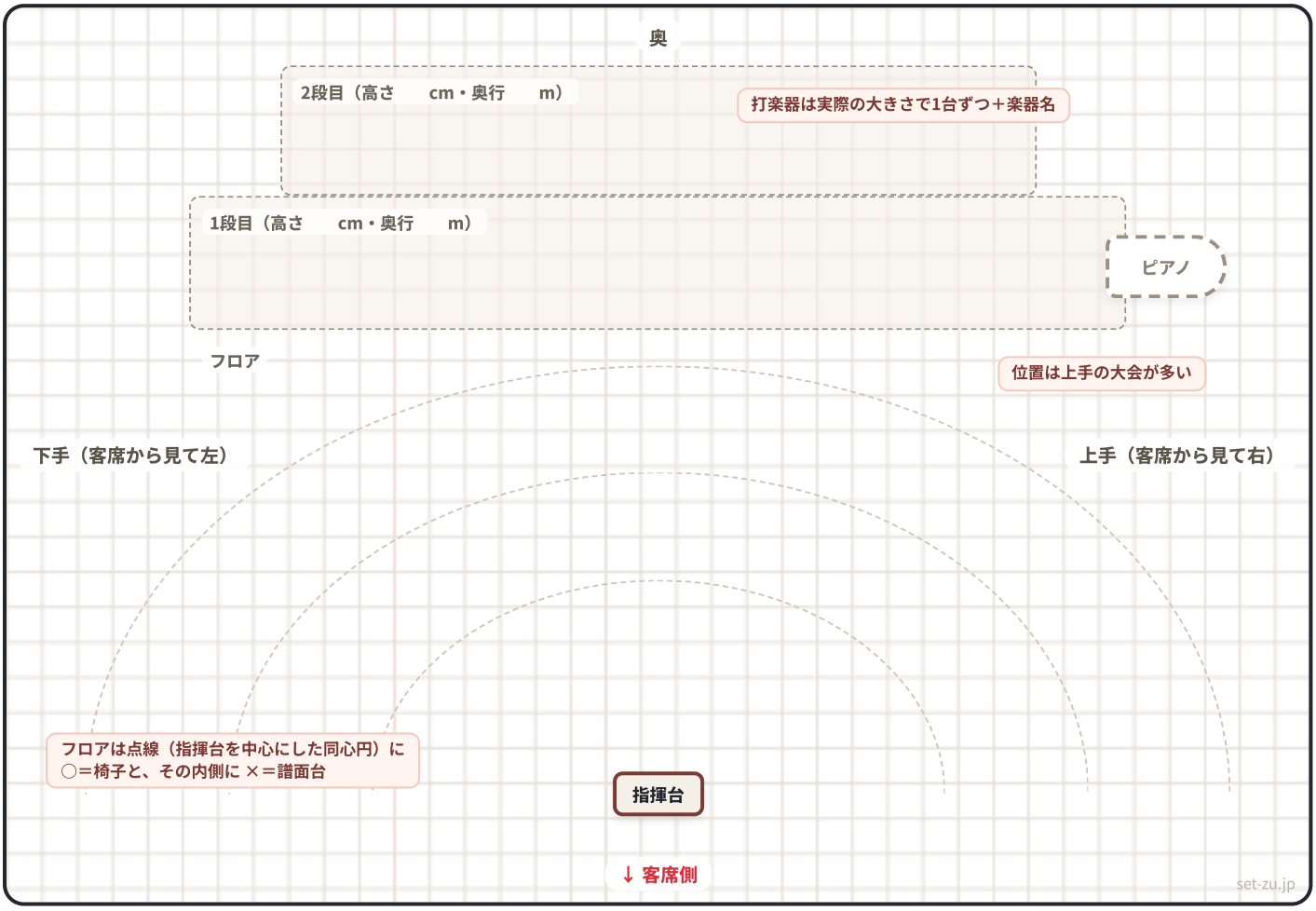
吹奏楽 ステージ配置図 記入用（連盟の様式に写す前の下書き）

○＝**椅子**・×＝**譜面台**・ピアノ椅子は様式の記号で
上手・下手は**客席から見た向き**
様式があれば**様式が最優先**

団体名	部門・出演順	出演人数（指揮者を除く）	版・日付・確認者（顧問）
			第　版（　／　） 確認：

① 配置図（上手・下手は客席から見た向き。段の高さと奥行きは様式の数字を写す）



書き方：　◯ ＝椅子（中に楽器名）　× ＝譜面台（奏者の前）　◎ ＝ピアノ椅子（様式の記号に合わせる）

打楽器は実際の大きさの図＋楽器名　持ち換え用・楽器置き用の椅子は注記

② 椅子・譜面台の数（図の ○ と × を段ごとに数えて合計）とピアノ

段	椅子（脚）	譜面台（本）	内訳・メモ
2段目			
1段目			
フロア			
合計			

ピアノ
使う ・ 使わない
蓋：全開 ・ 半開 ・ 閉
ピアノ椅子：会館（　）・持込（　）脚
使わないならピアノの図に×（県央の様式）

③ 打楽器・借用・電源／持ち換え・長机・搬入・指揮台

打楽器・借用楽器・電源
使う打楽器：

借用：
電源：要 ・ 不要（何に・どこ）
使う打楽器は略号で全部。借りる物に○

持ち換え・長机・搬入・指揮台
持ち換え用・楽器置き用の椅子：
長机（　）台／搬入する袖：下手 ・ 上手
指揮台・指揮者用譜面台：使う ・ 使わない
書かない椅子と机は当日出てこない

このテンプレートは印刷・配布・改変自由（無料）。**スマホで1分で作るなら → set-zu.jp/app/**

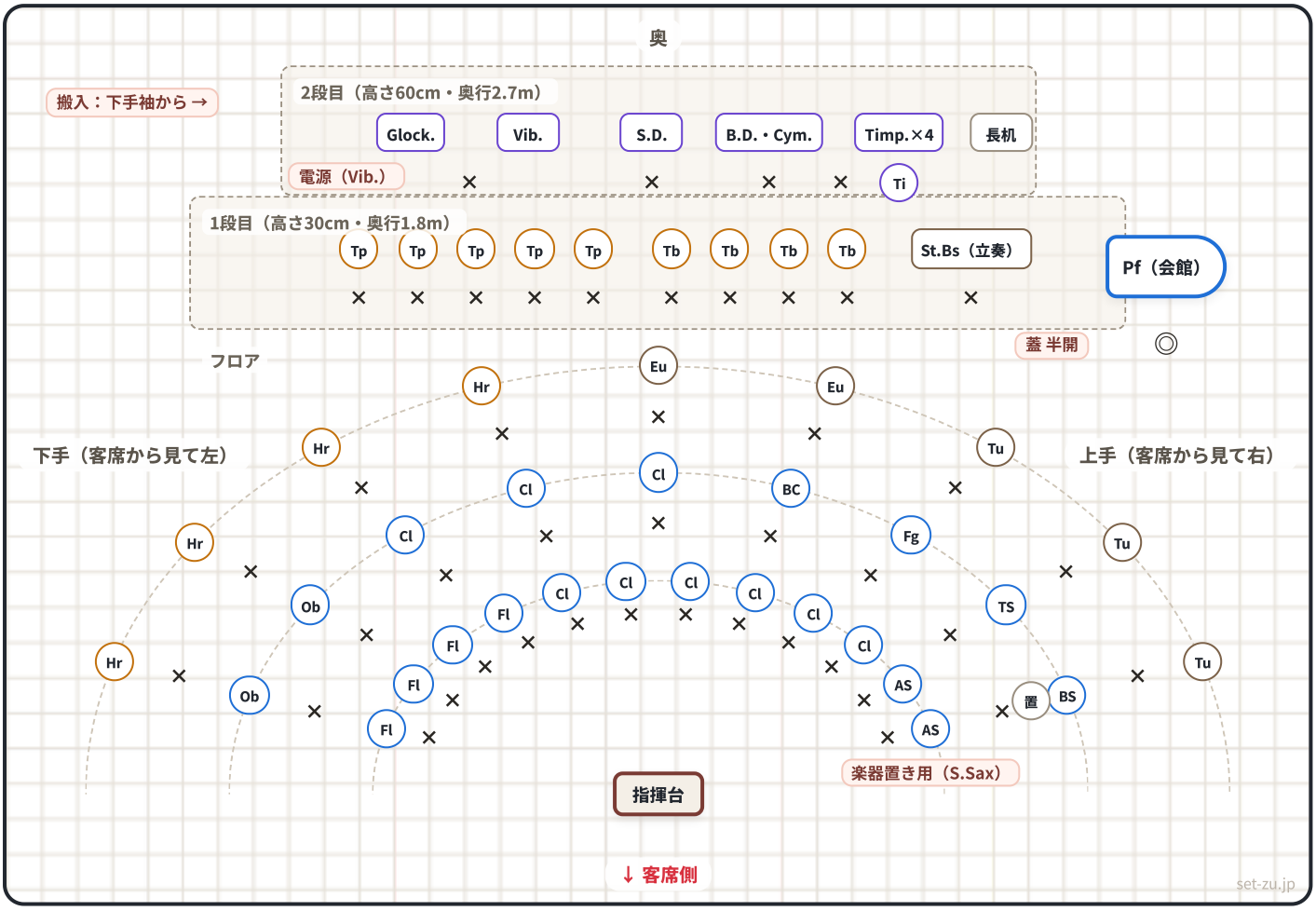
© セット図くん（LOCAL POWER株式会社） set-zu.jp

吹奏楽 ステージ配置図 記入例（中編成・ひな壇2段）

記入例：中学校の部A・45人・ひな壇2段
椅子41脚・譜面台44本・ピアノ椅子1
ピアノ上手・蓋 半開・電源1口（Vib.）

団体名	部門・出演順	出演人数（指揮者を除く）	版・日付・確認者（顧問）
〇〇市立〇〇中学校吹奏楽部	中学校の部A・8番	45人	第2版・6/20（顧問確認済）

① 配置図（上手・下手は客席から見た向き。段の高さと奥行きは様式の数字を写す）



書き方：◯ ＝椅子（中に楽器名）　× ＝譜面台（奏者の前）　◎ ＝ピアノ椅子（様式の記号に合わせる）

打楽器は実際の大きさの図＋楽器名　持ち換え用・楽器置き用の椅子は注記

② 椅子・譜面台の数（図の ◯ と × を段ごとに数えて合計）とピアノ

段	椅子（脚）	譜面台（本）	内訳・メモ
2段目	1	4	打楽器4人。椅子は Timp のみ
1段目	9	10	Tp5・Tb4（座奏）・St.Bass1（立奏）
フロア	31	30	管30人＋楽器置き用の椅子1（S.Sax）
合計	41	44	ほかにピアノ椅子1（会館）

ピアノ
使う（上手）・蓋 半開
ピアノ椅子 会館（1）・持込（0）
使わないならピアノの図に×（県央の様式）

③ 打楽器・借用・電源／持ち換え・長机・搬入・指揮台

打楽器・借用楽器・電源
Timp.×4・S.D.・B.D.・Sus.Cym.・Glock.・Vib.・長机1（小物）
借用：◯ Timp.・◯ B.D.
電源：要（Vib.・2段目 下手寄り）
使う打楽器は略号で全部。借りる物に◯

持ち換え・長机・搬入・指揮台
A.Sax 1st の横に楽器置き用の椅子（S.Sax）
打楽器は下手袖から搬入
指揮台 使う・指揮者用譜面台 使う
書かない椅子と机は当日出てこない

このテンプレートは印刷・配布・改変自由（無料）。**スマホで1分で作るなら → set-zu.jp/app/**
© セット図くん（LOCAL POWER株式会社） set-zu.jp

吹奏楽 配置図の早見表 記入ルール・様式の違い・略記号

○は**椅子**、×は**譜面台**
譜面台は「**本**」が多い（「台」の様式も）
記号と単位は**様式の凡例**に合わせる

① 連盟に出す配置図の記入ルール（7つの様式を読み比べて共通する項目）

対象	書き方・よくある指定
椅子	○で書き、楽器名か略記号を添える。凡例のある6つの様式は**すべて ○＝椅子**（奏者そのものではない）
譜面台	×で書く。奏者ひとりに1本が基本。**暗譜の団体でも撤去しない**大会がある（山梨・山形）
ピアノ椅子	普通の椅子と**別の記号**（◎・●・□）。会館の備品か**持込**かを分けて書く
持ち換え用の椅子	**楽器置き用の椅子も含めて、必ずその旨を書き込む**。書かないと当日その椅子は出てこない
椅子・譜面台の数	使う数を**数字で書く欄**がある。最後に図の○と×を数え直し、欄の数字と合わせる
打楽器	簡単な図に楽器名を添え、**使う物はすべて**書く。小さく書きすぎない（実際の大きさで）
打楽器奏者の椅子	使うなら○に加えて**「椅子」**と書く。着席用の椅子を用意しない大会もある（山梨）
電源	ビブラフォンなど電源を使う楽器は**使用の有無**。電源の位置まで書かせる様式もある（福島）
ピアノ	**使う・使わない**と**蓋の開け方**。位置は**上手**と決めている大会が多い
借用楽器	申し込んだ物に○をつける（東京都高校は赤で○）
記入者	責任者・顧問・指揮者が書くか、**記入後に必ずチェック**する（山梨）
提出後の変更	**原則として認めない**（山梨）。提出前の訂正は赤ペンで

○＝椅子・×＝譜面台はどの様式も同じ。ピアノ椅子の記号・譜面台の単位・ピアノの蓋の段階は大会で違うので、書き始める前に様式の凡例を確かめる。様式が配られていれば様式が最優先。

② 様式で違うところ（書き始める前に凡例を見る）

項目	様式ごとの書き方
ピアノ椅子の記号	◎＝山梨／●＝県央・福島／□＝山形
譜面台の単位	「本」＝県央・東京都高校・宮崎・東日本学校・千葉（アンコン）／「台」＝福島
椅子の単位	「脚」（読んだ様式はすべて）
数の書き方	合計だけ＝山梨（右上）・県央・東京都高校／段ごと＋合計＝福島（山台2・山台1・フロア）・東日本学校
ピアノの蓋	全開・半開・全閉＝県央／全開・半開・半半開・閉＝山梨／閉じる・半開・全開＝東京都高校／閉・小開・半開・全開＝東日本学校
ピアノ椅子の上限	会館で出せるのは2脚まで（山梨・ピアノ固定分を除く）／4脚まで（山形・福島）
提出の部数	B4で7部＝県央／B4で5部＝山梨／4部＝東京都高校／2部＝宮崎

譜面台は「本」で数える様式が多く、「台」の様式もある。椅子は「脚」。ピアノ椅子を椅子の数に含めるか別に書くかも様式で違う（山梨のアンコンは含む／県央・福島は別の欄）。迷ったら様式の欄の単位に合わせる。

③ 楽器略記号（団内でどちらかに統一する）

木管	**Fl.** フルート　**Picc.** ピッコロ　**Ob.** オーボエ　**Bsn. / Fg.** ファゴット（バスーン）　**Cl.** クラリネット　**B.Cl.** バスクラリネット **A.Sax. / T.Sax. / B.Sax.** サックス（アルト／テナー／バリトン）
金管	**Tp. / Trp.** トランペット　**Cor.** コルネット　**Hr. / Hn.** ホルン　**Tb. / Trb.** トロンボーン　**Euph.** ユーフォニアム　**Tuba** チューバ
打楽器・その他	**Timp.** ティンパニ　**Perc.** 打楽器（総称）　**Glock. / Xylo. / Vib. / Mar.** グロッケン／シロフォン／ビブラフォン／マリンバ **St.Bass / St.Bs / Cb.** コントラバス（弦バス）　**Pf.** ピアノ　**Cond.** 指揮者

④ 規模別の基本配置（段数は大会の様式で決まる）

規模	ひな壇	並べ方
小編成	**1段（または無し）**	木管を前2列、金管と打楽器を1段にまとめる。**扇を狭く**して中央でまとめる
中編成	**2段**	前に木管、**1段目に金管（Tp・Tb）、2段目に打楽器**。低音（Tuba・St.Bass）は上手
大編成	**2〜3段**	中低音金管・金管・打楽器を段で分ける。**奥行き次第で3段は組めない**ことがある

原則は3つ。音量の小さい木管が前・金管が後ろ、低音は上手にまとめる、打楽器は最後列（奥行きが足りなければ下手へ）。フロアの管楽器は指揮台を中心にした同心円で描くと分かりやすい（県央の様式）。

このテンプレートは印刷・配布・改変自由（無料）。**スマホで1分で作るなら → set-zu.jp/app/**
© セット図くん（LOCAL POWER株式会社） set-zu.jp

ひな壇・会場・提出前チェック 当日に止まらないために

ひな壇は**30cm・60cm**の2段が多い
体育館では**前寄り・扇を狭く**
提出後は**変えられない**前提で

① 様式に書かれていたひな壇の実寸（例）

大会	下の段	上の段
東京都高校	奥行1.5m・高さ30cm	奥行1.9m・高さ60cm（幅12m）
近畿総文2026	奥行1.8m・高さ30cm	奥行2.7m・高さ60cm（幅10.8m）
山形県	182cm・高さ30cm	273cm・高さ64cm
山梨県	高さ1尺（約30cm）	高さ2尺（約60cm）。段の上は10名が目安
県央（2段用）	奥行1.8m・+21cm	奥行1.8m・+42cm（幅10.8m）

高さは下の段30cm・上の段60cm前後の2段が多い（県央は21cm刻み）。上の段のほうが奥行きが深い会場が多く、打楽器は上の段に載せやすい。数字は会場と年度で変わるので、その年の様式の数字で描く。

② 体育館と文化ホールで変わること

項目	文化ホール	体育館
ひな壇	平台と箱馬で自由に組める。様式に寸法の指定あり	常設の合唱段のみのことが多く、段数を選べない
響き	残響が長い。金管を後ろに下げるほど混ざる	残響が短く、音が散る。奥に下げると届かない
配置の修正	原則どおりでよい	**全体を前寄り・扇を狭く**。奥行きを使わない
ピアノ	ホールの備品を借用（要申請）	アップライトのことが多い。位置と向きを図に書く
電源	舞台の各所にコンセントあり	数が少ない。延長コードの経路まで図に書く

③ 大会の要項・様式で決まっていること（例）

項目	決まっていること	大会
大型の楽器	グランドピアノ・ティンパニ・マリンバなど13種は**常設を使い、持ち込まない**	全国総文2026（秋田）
重い楽器	持ち運びに負担のかかる楽器は**据え置き**。配置図の様式に反映してある	近畿総文2026（兵庫）
椅子と譜面台	**ステージ上に出されているもの**を使う	宮崎（WinterCup）
指揮台・譜面台	**撤去しない**（暗譜の団体でも譜面台は残る）	山梨・山形
打楽器の搬入	上手側から入れるなら**備考欄と矢印**で書く。転換時間内に並べられるよう練習（連盟は補助しない）	山梨
図と実際の位置	指揮台・山台の位置は、仕込みの関係で図面と**若干異なる**ことがある	県央

④ 提出前チェック（15項目）

様式と数

- ☐ **その年度・その会場の様式を使っている**
  去年の使い回しではない
- ☐ **ひな壇の段数が様式（2段用／3段用など）と合っている**
- ☐ **図の○の数と出演人数が合っている**
- ☐ **椅子の数（脚）を数えて記入した**
  段ごとの欄があれば段ごとに
- ☐ **譜面台の数（本／台）を数えて記入した**
  下に下ろす譜面台も上段で数える様式あり

椅子・打楽器・電源

- ☐ **持ち換え用・楽器置き用の椅子に、その旨を書いて数に入れた**
- ☐ **打楽器を1台ずつ書き、借用する物に○をつけた**
- ☐ **座って演奏する打楽器奏者に「椅子」と書き添えた**
- ☐ **電源を使う楽器（ビブラフォン等）の有無を書いた**
- ☐ **指揮台の有無・高さの希望を書いた**

ピアノと提出

- ☐ **ピアノの使用と、ピアノ椅子の借用／持込を書いた**
- ☐ **ピアノの蓋の開閉（開けるならどれくらい）を書いた**
  使わないならピアノの図に×
- ☐ **団体名・部門・出演順など上部の欄が埋まっている**
- ☐ **顧問または責任者が記入したか、記入後にチェックした**
- ☐ **提出の部数・サイズと締切を要項で確認した**

ファイル名の型（メールで送る大会なら）
団体名_部門_配置図_第2版.pdf
版の数字を入れると、差し替えたときに取り違えない

セット図くんで作るなら
○と楽器名をドラッグで並べ、譜面台の×と打楽器を添えるだけ。何案も比べて、PDFと共有URLで顧問やパートリーダーに渡せます（set-zu.jp/app/・登録不要）

このテンプレートは印刷・配布・改変自由（無料）。**スマホで1分で作るなら → set-zu.jp/app/**
© セット図くん（LOCAL POWER株式会社） set-zu.jp